

ご協力ありがとうございました

義援金総額 2,926,715 円 (平成23年5月17日現在)

敬称略・順不同



義援金

長谷川誠一／城之内照和／小澤諦穎／染谷孝夫／柴田義雄／内田和歌子／木村房子／森とし子／谷津5丁目町会／香澄1丁目公団住宅町会／実籾連合町会／さくらの家パッチワーク桜花／言の葉会有志／さくらの家囲碁サークル／さわやかヨーガ／すみれの会／袖ヶ浦落語研究会／藤崎春秋会／和みの会／Fall Heart／習志野市社協香澄支部／習志野市社協屋敷支部給食ボランティア／習志野市社協藤崎支部／義援金募金箱（芙蓉園・シルバー人材センター・さくらの家・いずみの家）／街頭募金（JR津田沼北口・南口、イオン津田沼店入口）

義援金募集のための街頭募金

オービックシーガルズ（茜浜を拠点にしたアメリカンフットボールチーム）のお申し出により、選手をはじめ、他団体や個人ボランティアの皆さまと一緒に街頭募金を実施しました。

実施日時 3月19日(土)午前11時～午後2時
20日(日)午前11時～午後1時

実施場所 JR津田沼駅北口・南口(両日とも)
イオン津田沼店入口(20日のみ)

協力団体 オービックシーガルズ
明治安田パイレーツ
千葉大学アメリカンフットボール部
ガールスカウト千葉43団
個人ボランティア

延べ109名

募金額 19日(土) 954,972円
20日(日) 762,706円

合計 1,717,678円



物品寄付

災害対応ボランティアセンターの活動に使わせていただきました。

【氏名】 荒木洋之助／本田愛／平野弥生／スーパービバホーム新習志野店／利根コカ・コーラボトリング株式会社船橋支店／株式会社ギフトライン／株式会社菊竹

【物品】 スコップ(10本)・カップラーメン(2箱)・飲料水(50ケース)・飲料水(2ℓ×2本、500ml×1)・マスク(50枚入1箱)・ゴミ袋(45ℓ10枚入×4袋)・マスク(3枚入り×700セット)・まもる君Light(マスク3枚+ウェットティッシュ入セット×120セット)

東北関東大震災義援金の募集について

義援金は、千葉県共同募金会に送金され、寄付者の意向により東北地方で被災された方、千葉県内で被災された方の生活再建のために配分されます。千葉県共同募金会習志野市支会では、平成23年9月30日まで義援金の募集を行なっています。

千葉県共同募金会災害見舞金について

千葉県共同募金会習志野市支会では、千葉県共同募金会災害見舞金を支給しております。

対象となる方 り災証明等を参考にします。

- 住家の全焼または全壊の世帯 10,000円
 - 住家の半焼または半壊の世帯 5,000円
 - 死亡の方 10,000円
 - 重傷の方 5,000円
- 要件により金額が変更となる場合があります。

申込方法

千葉県共同募金会習志野市支会までお問合せください。支給方法についてご案内します。

申込期間

平成23年9月30日(金)まで

問合せ：千葉県共同募金会習志野市支会 TEL452-4161

ふくし

習志野

平成23年
6/4
臨時号

編集発行 社会福祉法人 習志野市社会福祉協議会広報委員会
〒275-0025 習志野市秋津3-4-1 総合福祉センター内
電話 047-452-4161 FAX 047-451-8211

東日本大震災により太平洋沿岸部を中心に、甚大な被害を受けました。習志野市でも、秋津、香澄、袖ヶ浦などの埋立地域を中心に液状化現象により上下水道、電気、ガスなどのライフラインが損傷したほか、家屋の傾斜などで約1,600世帯が被害を受けました。

習志野市社会福祉協議会(以下、社協)では毎年実施している「災害ボランティアセンター立上げ訓練」の経験を活かし、ボランティア派遣に対応するため、翌日より通常のボランティア・市民活動センターの業務を拡大し、災害対応ボランティアセンターの活動を開始しました。開始当初から多くのボランティアに登録いただき、ボランティア活動をしていただきました。ここにご報告いたします。

3月11日に発生した東日本大震災では、習志野市内でも大きな被害が生じ、多くの市民の方々が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。



習志野市社会福祉協議会災害対応ボランティアセンター活動状況

開設 3月13日(日)正午
開設期間 3月13日(日)～3月27日(日)
開設時間 午前9時～午後4時
活動状況 3月13日(日)～3月27日(日)
※但し、21日(月)、24日(木)、25日(金)を除く



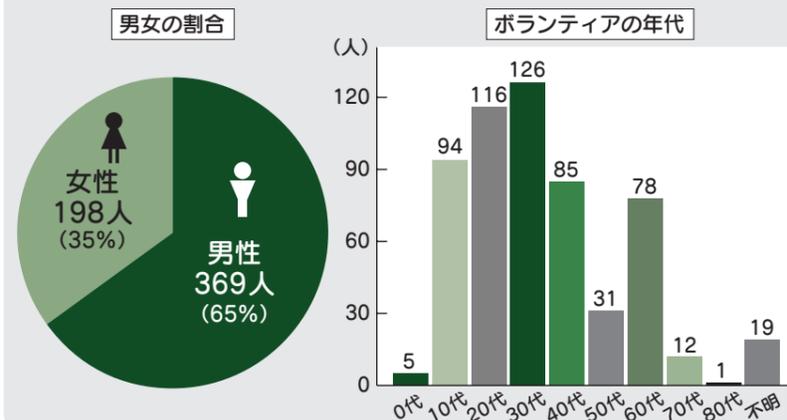
ニーズ(手伝ってもらいたいこと)発掘とボランティア募集

市内の社協16支部に、各地域の被災状況の確認を行ないました。特に被害の大きかった秋津、香澄、袖ヶ浦の全域と谷津の一部世帯に対し、ニーズの発掘とボランティアの募集チラシを全戸配布しました。

また、災害対応ボランティアセンターの情報は、社協と習志野市役所のホームページに掲載しました。

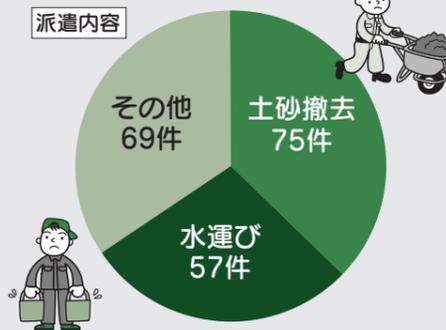
ボランティア登録者数 延べ567人

原則として市内居住者を募集



ボランティア派遣件数 延べ201件

ボランティア派遣対象は、高齢者などの災害弱者を中心として、住民からのニーズ及びボランティア登録状況に応じて範囲を拡大しました。





活動したボランティアの声・依頼者の声

アンケート・インタビューをもとに掲載しています。

ボランティアのきっかけ



- ★友人に誘われて、土砂撤去をやってみてもいいかなと思った。(10代女子高校生)
- ★年齢を気にして、自分でも出来るかと聞いたら、どうぞと言われたので来てみた。(40代女性)
- ★以前にもボランティアをしたことがあったので参加した。少し考えたが、小学生の子どもにも体験させたかったとの思いもある。(30代男性)
- ★何か出来ることはないかと思って。(30代男性)



依頼者の声

- 若い方がこんなに大勢で一気によってくれて本当に助かった。中には小さいお子さん(小学生)まで来てくれて、大人に混じって手伝ってくれた。本当に感謝、感謝です。
- 高齢で普段から階段が大変でしたが、断水になりとても困っていましたが、水を運んでいただき助かりました。本当にありがとうございます。
- 年もとっているし、たまたま主人が出張中で手もなかったことからお願いしました。本当に助かりました。



ボランティアを経験して良かったこと

- ★ボランティアをすることへの敷居が低くなった。(20代女性)
- ★知らない人同士で同じ目的を持って活動できたこと。(20代男性)
- ★募金活動で市民に励まされた。(70代男性)
- ★若い人が多くとても嬉しかった。(30代女性)

- ★迷惑をかけるのではないかと正直心配だったがやってくれた。(40代女性)
- ★翌日通りですれ違っても顔を覚えていただいて、お礼を言われた。(30代男性)
- ★片付け終わった後にお礼を聞いて、やりがいを感じる事が出来てよかった。(10代男子高校生)



ボランティア活動をして困ったこと

- ★土砂の臭いと腰の痛みが大変だった。(10代男子高校生)
- ★土のう袋などの資材が十分でなかった。(60代男性)
- ★初日は、コンビニに食事もなく昼食に困った。(30代男性)
- ★昼ごはんが屋外で風が強くホコリが舞って困った。(40代女性)
- ★女性はスコップを持ち上げるだけで重労働。分業すると良かったかなと思う。(30代女性)



災害対応ボランティアセンターの運営等について

- ★てきばきと仕事を振り分けてくださり、スムーズに作業に入れたと思います。(30代女性)
- ★ボランティアセンターの存在を知りませんでした。もっと多くの方に知ってもらえれば今後何かあった時助け合えると思う。(50代女性)
- ★ホームページに災害の状況画像がないと訴える力が薄いと思った。(30代男性)
- ★指令部の状況把握不足を感じた。(30代男性)
- ★市営墓地での土砂運びだったが、もっと市民の生活に近いことをしたほうが良いと思った。(60代男性)



その他にも運営について色々なご意見をいただきました。今回のご意見や経験を活かし、災害に備えてまいります。

ボランティア・市民活動センターでは、災害時以外でもボランティア募集・登録を行なっています。お気軽にお問合せください。

【問合せ】 ☎451-7899